

伊庭内湖周辺におけるホンモロコ遊漁による採捕尾数

片岡 佳孝

1. 目的

伊庭内湖周辺では、ホンモロコの産卵保護を目的として刺し網などホンモロコ漁業の琵琶湖海区漁業調整委員会指示が発出された。

禁漁は平成 24 年度から行われており、期間は平成 24 年度が 4 月 1 日から同 30 日、平成 25 年度と 26 年度が 4 月 16 日から 5 月 15 日であった。しかし、これらは漁業者を対象としたもので遊漁者は対象ではない。

伊庭内湖周辺のホンモロコの資源管理のためには、遊漁を含めた管理策が必要と考えられる。そのため、遊漁実態を明らかにする必要があり、平成 24 年度から遊漁による採捕尾数の推定調査を行ってきた。本年度についても、継続調査を行ったので報告する。

2. 方法

遊漁（釣り、投網、たもすくい）によるホンモロコ採捕尾数の推定は、2 段階抽出により行った。調査日を 1 次抽出単位、採捕状況の聞き取りを行った遊漁者を 2 次抽出単位とした。採捕率や遊漁者数は時期ごとに変化したため、推定は月ごとに分けて行った。推定では、釣りは 8 時間、投網とたもすくいはそれぞれ 4 時間行くと仮定して計算した。

推定に必要な情報は、聞き取り調査により行った。聞き取りでは、遊漁者数の把握を行ったのち、無作為に選んだ遊漁者から聞き取りまでの採捕時間と採捕尾数を聞き取った。遊漁者数は、遊漁者数が多くなる午前 10 時から午後 2 時に目視により計数した。調査期間は、2015 年 3 月 31 日から 5 月 27 日であった。

3. 結果

調査日における総遊漁者数は、1 人（5 月 27 日）から 167 人（3 月 31 日）で推移した。釣りは 3 月 31 日が最も多く（166 人）、その後減少

し、4 月 18 日に再び増加（119 人）したのち、5 月には一桁の人数となり終息した。たもすくい、投網は 4 月以降増加した。

遊漁による推定採捕尾数は、約 11 万尾（109,581 尾）となった。内訳は釣り約 5.8 万尾（57,966 尾）、たもすくい 2.1 万尾（21,375 尾）、投網 3 万尾（30,240 尾）となった。

釣りによる推定採捕尾数は、平成 26 年度と同程度（56,621 尾）であったが、たもすくいと投網については、平成 26 年度（投網 55,342 尾、たもすくい 121,777 尾）より大幅に減少した。

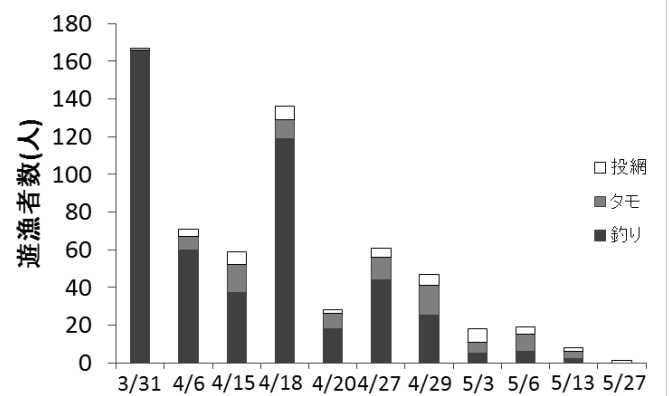


表1 遊漁によるホンモロコの推定採捕尾数

釣り	57,966
投網	30,240
たもすくい	21,375